

新中期経営計画 Co-Creation

2017.4 ~ 2022.3

— くすりを創る、価値を創る、未来を創る —
共に創る

 **キッセイ薬品工業株式会社**

KISSEI

中期経営計画 Co-Creation

経営環境が激変する中で将来の安定成長を図る5カ年計画

	好機	問題・課題
外部要因	医療ニーズの多様化 Unmet Medical Needs(UMN)の顕在化 AMEDなどによる新薬創出支援政策	国内外医薬品市場の構造変化 新薬シーズの枯渇 研究開発リスクの増大
内部要因	PⅢ以降の新製品6テーマ 泌尿器、腎・透析領域でのプレゼンス確立	シロドシン（ユリーフ®）物質特許満了の克服 創薬研究の生産性向上

KISSEI

最終年度（2021年度）計数目標

● 連結売上高	730億円以上
単体売上高	610億円以上
医薬品 ^{※1}	505億円以上
ヘルスケア食品	45億円以上
その他 ^{※2}	60億円以上
● 営業利益	65億円以上
● 研究開発費	130億円

※1：原薬・バルク輸出含む

※2：技術料売上+国内販売提携先供給額

Co-Creation 基本方針

【経営ビジョン】

世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し
提供する創薬研究開発型企业を目指す

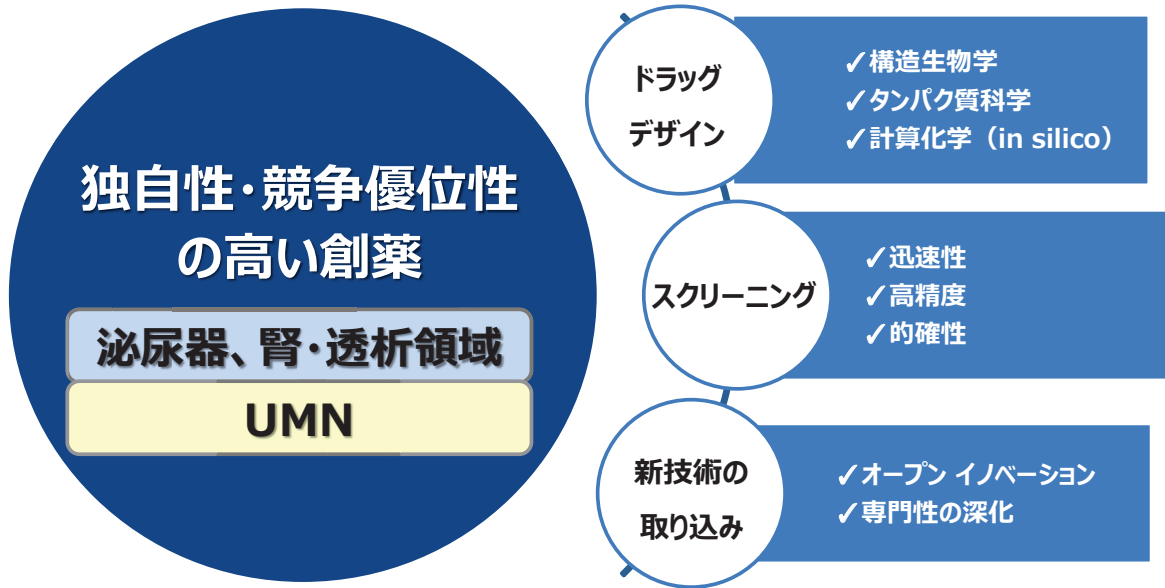
I. 創薬研究の強化

II. 製品ポートフォリオの拡充

III. 国内医療用医薬品売上の最大化

IV. 安定的な海外収益基盤の構築

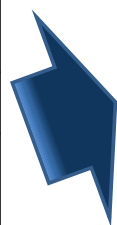
I. 創薬研究の強化



II. 製品ポートフォリオの拡充

- ◆創薬研究・開発体制の強化
- ◆研究・開発プロジェクトの推進
- ◆領域戦略に沿ったライセンスイン

泌尿器、腎・透析領域 UMN	
	現在
申承認中	AJG511 (潰瘍性大腸炎) グルバス®OD錠
準備申請中	KRP-114V (過活動膀胱)
PⅢ	JR-131 (腎性貧血) KPS-0373 (脊髄小脳変性症) AJM300 (潰瘍性大腸炎)
PⅡ	MR13A9 (透析患者におけるそう痒症) KLH-2109 (子宮内膜症、子宮筋腫)
PⅠ/Ⅱ	YS110 (悪性中皮腫)
PⅠ	KDT-3594 (パーキンソン病)

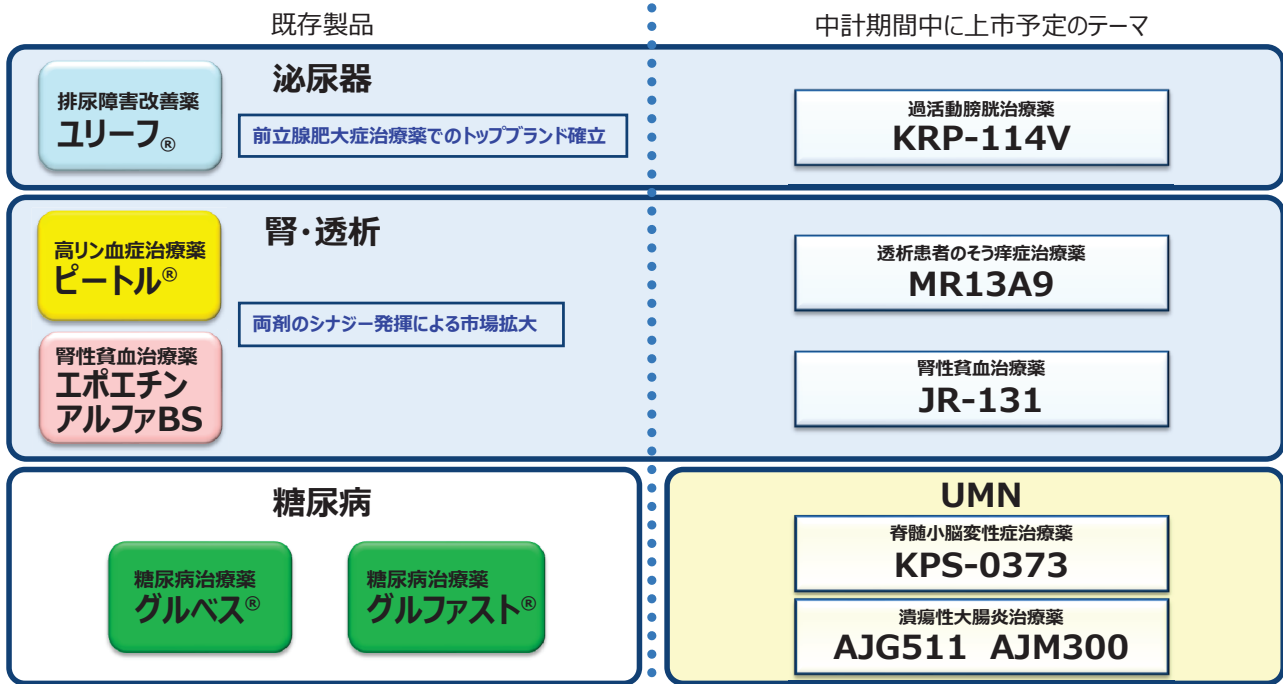


	中計最終年度(2021年度) 末までの目標
上市・承認	KRP-114V JR-131 MR13A9
	KPS-0373 AJG511 AJM300 グルバス®OD錠
	YS110
(承認申請中を含む)	KLH-2109 KDT-3594 アフリベルセプトBS (加齢黄斑変性症) PRX302 (前立腺肥大症)
	新規創薬テーマ群

新規導入テーマ群

Ⅲ. 国内医療用医薬品売上の最大化

- ◆販売資源の戦略的配分
- ◆重点領域でのプレゼンスの確立



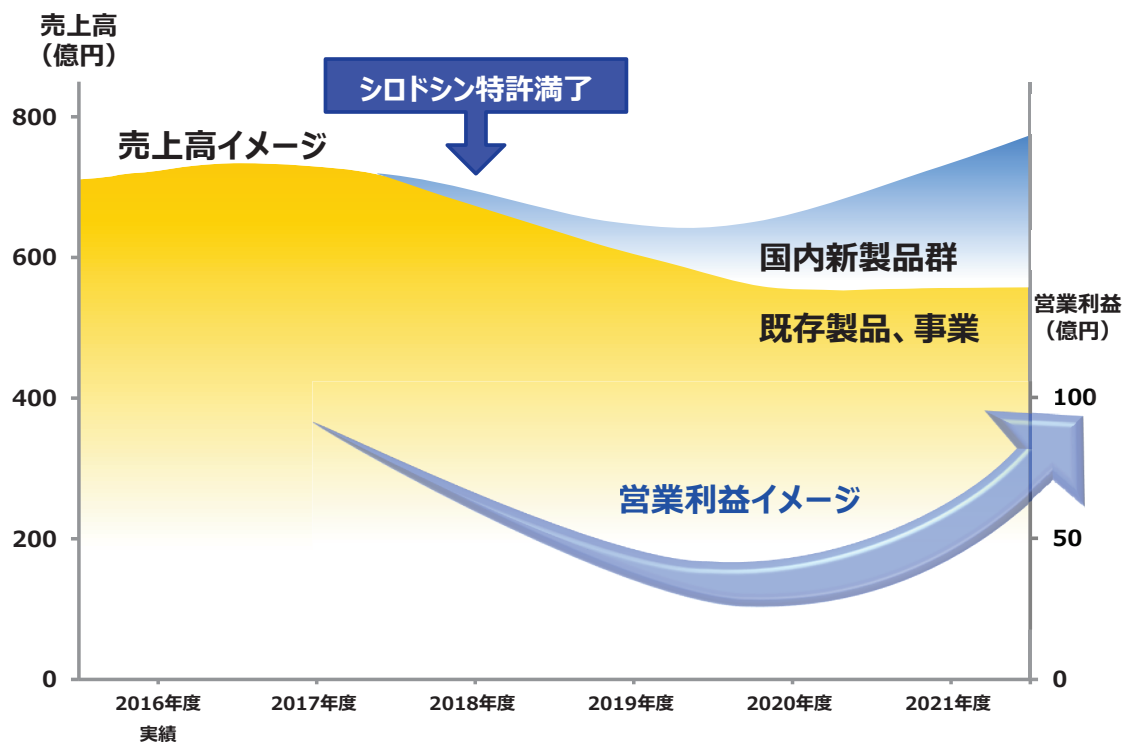
Ⅳ. 安定的な海外収益基盤の構築

- ◆新規創薬テーマのライセンスアウト
- ◆シロドシンに次ぐ将来の基盤構築

GnRHアンタゴニスト **KLH-2109**

- ✓ 予想される適応症：子宮内膜症、子宮筋腫
- ✓ オブシーバ社（スイス）にライセンスアウト（海外開発コード：OBE2109）
- ✓ 各臨床試験が欧米で進行中
 - ・ 子宮内膜症を適応とする後期第Ⅱ相臨床試験
 - ・ 子宮筋腫を適応とする第Ⅲ相臨床試験

業績の見通し（連結）

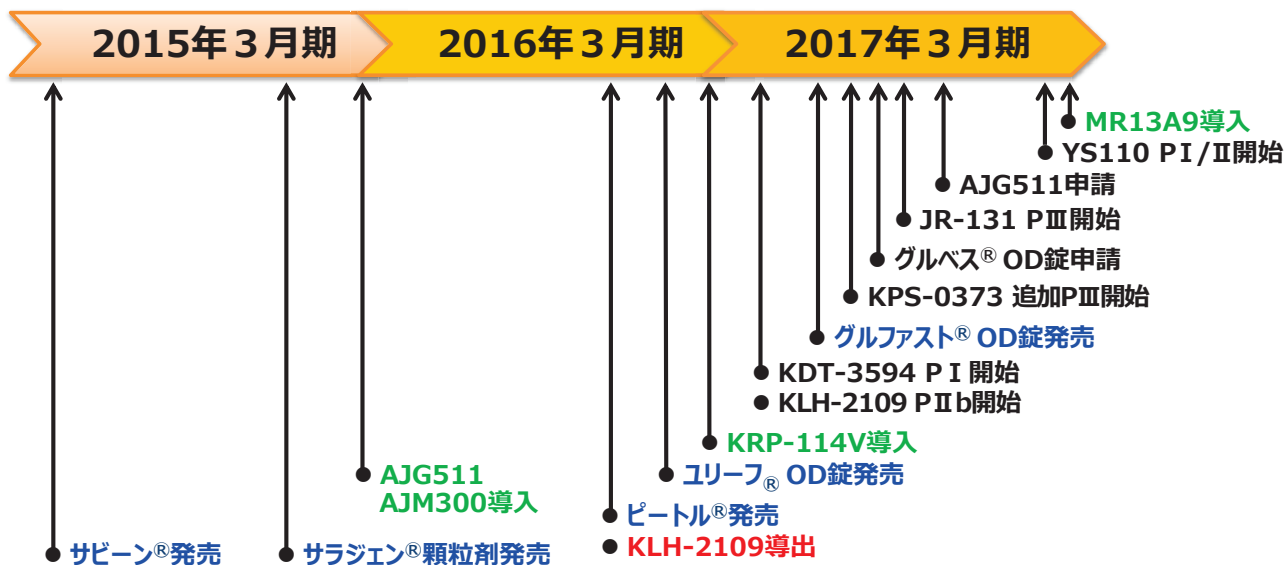


株主還元

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
1株当たり 配当額	36円	38円	40円	42円	44円	46円	48円 (予想)
自己株式の取得 (取得株式数)	43億円 (280万株)			79億円 (254万株)		16億円 (61万株)	
自己株式の消却 (消却株式数)					54億円 (260万株)		

ご参考：前中期経営計画 PROGRESS 3 実績

新製品発売／開発ステージアップ／ライセンスイン・アウト



ご参考：前中期経営計画 PROGRESS 3 計数実績

	PROGRESS 3 目標	最終年度 (2017年3月期) 実績
連結売上高	705億円以上	717億円
単体売上高	610億円以上	614億円
医薬品※ ¹	473億円以上	510億円
ヘルスケア食品	43億円以上	38億円
その他※ ²	94億円以上	65億円
連結営業利益	95億円以上	84億円

※ 1：原薬・バルク輸出含む

※ 2：技術料売上＋国内販売提携先供給額

明日のいのちの為に。
くすりの未来を切り拓く。



本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2017年5月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。